



岐路に立つスポーツ少年団 がんばれ! 大山JVC



今回の特集は、町内で活動・活躍する『大山ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団』の竹口啓三監督・選手・保護者に聞きました。

保護者

「団体競技で仲間を大切にしたい」

バレーボールを始めたきっかけを教えてください。

【保護者】姉の友だちから誘いがあり、本人もしてみたいと言ったからです。

【保護者】園児のころからしたいと言っていました。

【保護者】監督に勧誘されました。私も監督にお世話になりました。

【保護者】きびしいのが嫌で勧誘を断っていました。6年生になり入部し、今は楽しいようです。

町内の3地区が合併し、今の団員は何人ですか。

【保護者】平成21年に合併し、今は名和3人、中山8人です。

【保護者】大山地区の団員がないのは、送迎がむずかしいからです。送迎車があればよいと思います。ぜひ町にも検討してほしいですね。スポーツをした子どもたちのために環境を改善してほしいです。

バレーボールを通じて子どもに何を学んでほしいですか。

【保護者】私の子どもは弱く、誰かにしてもらえらると思っ
ています。強くなれば学校生活でも違ってくると思いま



保護者を囲んで

【保護者】人前で声を出すことです。昨年よりは出ています。

【保護者】仲間を大切に、相手の気持ちもわかり、ときには助け合ったりする気持ちを養ってほしいです。

【保護者】家庭では教えられないことを教わっています。みなが同じ目標に向かえることです。

入団して子どもに変化はありますか。

【保護者】技術がみるみるうちに上達しました。

【保護者】家でゲームや友だちと遊んでいましたが、だからと過ごすことがなくなりました。

不満を口にすることはありますか。

【保護者】町の補助金はありますが、子どもが減少し負担が大きいです。技術をみがくために遠征にでかけるのも大切です。補助金も少し増えればと思います。

【保護者】姉は中学生になったからスポーツ少年団に戻りたいと言っています。中学校の部活動が物足りないようです。今入団している子どもは、自分で覚悟して入団したので何も言いません。

監督は、勝負にこだわらずスポーツ少年団本来の活動を追求したいと願っておられるようですね。

【保護者】監督は勝るとときには勝ちにいかれます。子どもたちもそれがわかるようにしなさいといけません。ただ物足りません。保護者もそれを支えてあげます。いつも負けてはつまらない、勝ちたいと思っています。

【保護者】がんばって、結果も出てきています。卒業生もよいと言っています。

勉強にも身が入るようになりましたか。

【保護者】宿題を必死でしています。バレーボールがしたいからですかね。

バレーボールに限らずスポーツ少年団に関して何かありますか。

【保護者】町の補助金はありますが、子どもが減少し負担が大きいです。技術をみがくために遠征にでかけるのも大切です。補助金も少し増えればと思います。

